

# 西日本でのキビシロタンポポの倍数体の分布



鈴木 武

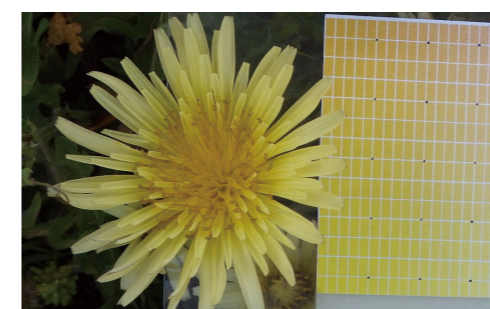
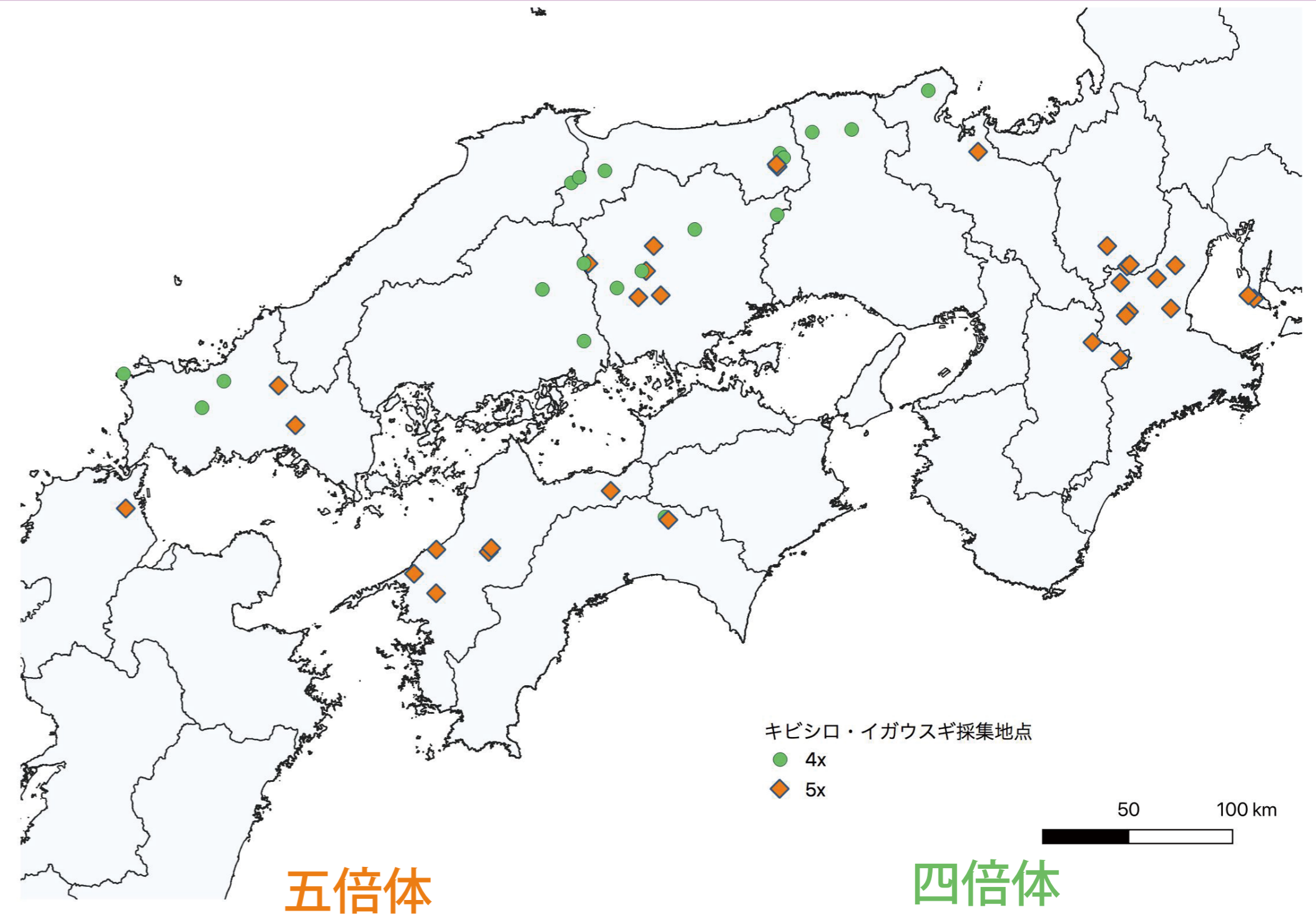
自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ

キビシロタンポポ *Taraxacum hideoi* H.Koidz.は、短い花茎に薄いクリーム色～白色の花を咲かせます。市民参加型のタンポポ調査・西日本により、西日本での分布域が明らかになってきました。

染色体数の異なる四倍体(4x)と五倍体(5x)があることは知られていましたが、14府県41地点でのサンプルで、フローサイトメトリー法で、倍数性を調べるとともに、カラーチャートにより花色も評価しました。

四倍体は近畿北部から中国地方に分布し[高知で1地点]、花色はおもにクリーム色とうすく、五倍体は愛知県から紀伊半島東部、岡山西部、四国西部、山口、福岡に見つかり、花色はおもに明るい黄色であり、四倍体と比べると色が濃い傾向にあることがわかりました。

五倍体は、イガウスギタンポポ *T.albidum* var. *ig-aense* H. Koidz.、愛媛県でのホソバウスギタンポポ *T. albofimbriatum* H.Koidz.に相当すると考えられます。



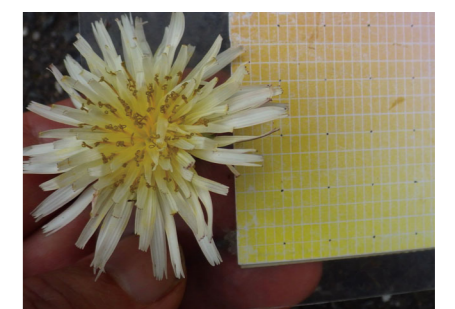
愛知県南知多町



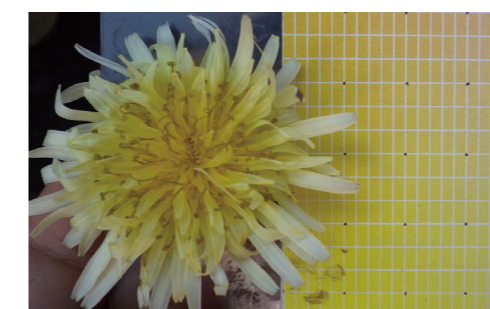
三重県伊賀市



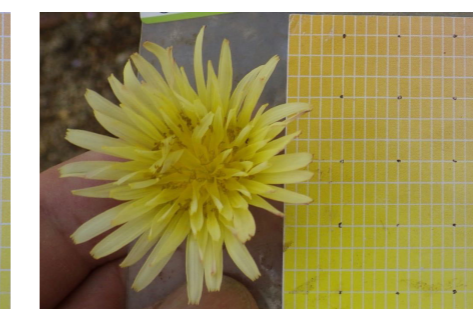
兵庫県豊岡市



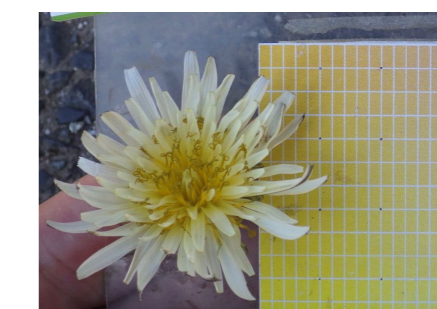
山口県萩市



愛媛県西予市



福岡県北九州市



岡山県新見市



広島県庄原市